

兵庫区会

教育応援団

福3 - 兵 山中 敏夫

ことしの1.17行事に私の校区内の湊川中学から、震災当時の体験とその後のボランティア活動について話をしてほしいとの依頼を受けました。当日は私の主宰する会下山ラジ体操会の例年続けている5時46分の追悼行事に引きついで、8時20分から朝礼と校長先生の訓話の後、講堂に集まった約400人の生徒に5時46分の瞬間の体験と、湊川中学における避難生活の状況、そしてその後のボランティア活動について約40分の話をしました。今の中学3年生は、当時小学1年生で、記憶はあるものの詳しいことはよくわかっていないので、皆肯いて静かに聞いて貰いました。ただ悲惨な状況、恐怖を与える話はフラッシュバックを引き起こすのでやめてほしい前もって注意を受けました。

話の後で校長先生から「今日の少子高齢、核家族社会の進行する中で、3世代はもちろん、親子2世代、兄弟姉妹、地域での子供集団のふれあいが希薄になっている。加えて父親の仕事、母親の有職化等による家族のすれ違い生活の恒常化、離婚の増加等々で生じている子供たちの個の生活化があり、家庭教育の消滅、肉親愛の枯渇による情操、常識、道徳の低下、さらに非行化への芽が育ちつつあることに対する教育関係者の危機感が深まりつつある。このようなとき、学校教育だけではなし得ない、より深くより広い知識や情操を養い、鍛えていくために、地域の方々の力を借りたい。ついては本校の教育応援団を結成したいので、協力、参加を頂きたい」との要請を受けました。

大変時宜を得た良い企画であるので、即応諾、登録しました。その具体的な活動は、

- ・地域の歴史（地理、伝説）
- ・震災当時の状況
- ・健康について
- ・家族について

- ・仕事（職業）について
- ・人権、思いやりについて
- ・人生体験について
- ・趣味について
- ・元気の出る話

等々について「総合的な学習の時間」の時間割の中でボランティアとして参加すること、学校の各種行事や、授業参観に参加すること、年1回全登録者の総会を開いて、1年間の報告と次年度の企画に対して検討することなどです。

この企画は、すでに兵庫県「トライアル・ウィーク」や、一部地域

で実施されています。震災後、学校が地域コミュニティのセンター的役割を担う必要が論議され、すでに地域の防災センターとして始動しています。またNHKの「ようこそ先輩、課外授業」による効果も高く評価されています。この試みは追々と広がって行くのではないかと思います。

このような要請があったときは、“わ”に結集する私たちにとって最も相応しい出番ではないかと思います。

関係各位

平成15年1月 日

神戸市立湊川中学校
校長 三宅 克重

湊川中教育の応援団になって下さい！

いつも本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。

本校は現在、1年2クラス、2年3クラス、3年2クラス、仲良し学級1クラス、計8クラス、在籍206人の小規模の学校です。生徒達は、人懐っこく、素直で、友達思いです。保護者の方々地域の方々に温かく見守られ、支えられて毎日の学校生活を送っています。授業をはじめ、部活動や地域に出向くための諸活動にも数多くしっかりと取り組んでいます。

しかしながら、もっと知識を吸収しようとか、自分の視野をもっと広げ鍛えて伸びていこうとかの意識がやや弱いかも思いを感じています。本校の課題の一つであろうと認識しています。

生徒達にこれから求められていることは、情報化の進展と共に、人に頼り過ぎず、自ら考え、逞しく生きていく力を持つことです。学校では、教科での学習を基本としながら多くの活動を通して、さらに力強い生徒を育てていくつもりです。

つきましては、上記のような教育方針を進めるに当たり、保護者の皆様や、地域の皆様のお力をお貸し頂きたいと思っております。原則としてボランティアとして、例えば下記のような領域で御願いできませんでしょうか。内容としては、生徒へのお話や簡単な実演や体験等です。申し出のあった方々は、登録をさせていただきます。後日ご連絡させていただきます。右の登録票に記入頂き、FAXでご送付下さい。どうかよろしくお願ひいたします。

記

1. 登録期限：平成15年3月 日
2. 登録先：神戸市兵庫区松本通り1-1-1
神戸市立湊川中学校(TEL. 078-521-4874)
(FAX 078-521-4875)
3. 問合せ先：湊川中学校 教頭 尾崎 幸夫
4. 支援していただきたい内容(例)

★ 地域の歴史	★ 震災当時の話	★ 健康について
★ 家庭について	★ 仕事について	★ 人権・思いやりについて
★ 体験話	★ 趣味について	★ その他元気な話など
5. 具体的な活動について
 - ★ 平成15年度より実施
 - ★ 主に「総合的な学習の時間」を活用して御願いをします。
 - ★ 学校の各種行事や授業参観などを通して本校を見ていただきます。
 - ★ 年に1回、学校の現状や活動について総会を開き説明します。



朗読ボランティアのお願い



芦屋で朗読ボランティアをしておりました「小槌の会」がこの7月で解散します。それまでの一部を請合って朗読とダビング、発送をすることになり、5、6名で活動をするようになりますが、テープ300本をダビングしなくてはなりません。活動場所は明石コープセンターか、垂水区の神陵台になるかと思いますが、時間がある方のご協力をお願いいたします。問合せ先：782-5565 長谷川 文子(音6-い)